

独立行政法人国立病院機構 宮崎病院

■病院の概要

■病院長
■所在地
■TEL
■研修実施責任者
■病床数
■年間入院患者実数
■一日平均外来患者数
■救急取扱患者数

江崎 公明
児湯郡川南町大字川南 19403-4
0983-27-1036
安藤 徹
199 床
1055
59.9
296



(平成 29 年度実績)

■研修受入診療科

整形外科、小児科

研修施設の特徴

本院の所在する川南町(人口約1万6千人)は、宮崎市と延岡市の中間にあり、東には日向灘、北西には尾鈴山を配し、気温は温暖で自然環境に恵まれた地である。

医療圏としては川南町や高鍋町を中心とした西都児湯医療圏(人口約10万人)に属している。

本院は、政策医療として重症心身障害児(者)に対する入院療育を行うと共に、地域で生活を送りながら発達相談やリハビリなど総合的に援助

研修症例および指導体制の特徴

《整形外科》

【研修症例】

一般外傷・骨折を中心とした手術、形成外科的手術その他、人工関節、拘靭性神経障害などの慢性疾患に対し年間388例の手術症例を有する。

また、脊椎疾患、関節疾患のリハビリテーション

【指導体制】

整形外科医師2名体制で直接指導のもと、外来診療や手術などを通じて、幅広く整形外科疾患の

する通所事業も行っている。

一般医療については、内科、小児科、整形外科などで専門性を活かした医療を行う一方、二次救急医療施設として24時間体制で救急医療を行っている。

また、開放型病院として、地域医療機関との病診(病)連携を強化しながら、地域ニーズに対応できる体制作りに努めている。

ンも行っている。

腰椎椎間板ヘルニア、頸椎症などの慢性疾患に対してはリハビリテーションや神経ブロックによる疼痛コントロールを行っている。

診断・治療に関する知識、手術手技を習得し、実践できるようになることを目標としている。

る相談の実施や、小児発達に対する理学療法(リハビリテーション)を行っている。

ショートステイ、通所事業にも積極的に取り組んでいる。

《小児科》

【研修症例】

血液検査、CT検査、MRI検査などによる小児神経疾患の診断・治療を行っている。

特に遺伝性疾患、染色体異常、てんかん、脳性麻痺などの診断と治療に力を入れている。

また、精神運動発達遅滞などの発達障害に対す

ライマリーケアを行っていると共に、重度の基礎疾患のある患者の急性増悪にも対応しており、有意義な研修が出来ると考える。

【指導体制】

てんかん・脳性麻痺などの神経疾患をもつ患者を主に診療を行っている。

その他に近隣の患者の発熱、咳、下痢などの普